夕刊
磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島県磐城市渚廻五一
電話３８７番
編集兼発行人　國村　清

いづみ牛乳
牛乳で
健康に
いづみ酪農組合

昨夜小名浜の旭製氷工場全焼

損害約七五〇万円

昨十八日午後九時二十五分頃磐城市栄町一番地旭製氷工場（責任者堀朝二氏（五四才））の二階冷凍室附近より発火した。幸い北西の微風と発見時間が早かつたので消防作業は順調であつたが、冷却設備用アスファルトのタールが大量あつたため、それらに延火して火の手が強く、冷凍室二室と準備室一室と、冷凍サンマ二万貫を全焼し午後一〇時四五分頃鎮火した。

原因は当日午後三時頃同工場の堀彦弥さん（二三才）と同僚が酸素切断作業した火花がアスファルトに点火したものらしい。

損害は約七五〇万円、工場主堀さんは

おさわがせして誠に申訳ありません。周囲をコンクリート壁でかこつてあつたので風が起らなくて自工場だけで済んだのが不幸中の幸いでした。

と恐縮しながら語つていた。

立花市長

来月初旬退院か

磐城市中田助役、長瀬議長、小泉企画課長らは一昨十七日市政連絡のため東京都豊島区西品川二の二六一五番地康楽病院に入院静養中の立花市長を訪ね、打合せを行い昨日帰京した。

中田助役は市長の容体を

「立花市長の病状は快方に向つて、ノドの状態もよく声も出るようになり良好である。過労が原因とみられており、今月中は入院静養を続け、来月初旬には執務出来る見込とのことである。」

と語つていた。

椅子・修繕・張替
三光椅子店
磐城市字後宿二三

事業計画協議

磐城市の社教委

磐城市社会教育委員会は明二十日午後一時より小名浜公民館に於て開催、次の案件を協議する。

一、事業報告
一、十、十一月事業計画
一、社会教育基本調査について

ハエとカのいない

生活實践運動

磐城市では「ハエ」と「カ」のいない生活実践運動を行う為、市衛生課に於て企画立案中であるが本十九日区長、組長に対し、組の衛生環境の調査を依頼、この調査を取りまとめて、これが実践運動に入ることになつた。

これはさきに政府は新生活運動の一環として「ハエ」と「カ」のいない生活実践運動を全国的の運動として実施する計画を発表、これによつて、磐城市に於ても明朗で快適な生活環境を樹立することになり、市民の協力を求める事になつたものである。

二宮尊徳慰霊塔

磐城市鹿島支所に於て本十九日午前十時より二宮尊徳翁百年祭を記念し、磐城市蔵持地内に翁の慰霊塔建設中の二宮尊徳翁百年祭記念慰霊塔建設会（委員志賀直哉氏）は同塔の設工も近く慰霊祭のことについて協議を行つた。

市有財産処分審議

磐城市議会総務委員会は二十日午後一時市役所会議室において、市有財産処分の件について審議を行う。

『藝術と人生』

辰野博士講演会

磐城市の文化団体八潮会（会長木田茂氏）では此の程評論家辰野隆氏を招いて「芸術と人生」について氏特有の含蓄ある講演が予定されている。

又その折同時に文芸作家写真展を約一〇〇点が公開されることになつている。

期日、会場の決定次第公民館より報知されることになつている。

新選組追撃
大友柳太郎
千原しのぶ
月夜の傘
田中絹代
宇野重吉
19→23まで
キンビ館

國民助け合い作文募集入選

不幸な人を救いたい

磐城市立小名浜第一中学校二年
鈴木宣洋

「天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず」かの有名な明治思想界の先覚者福沢諭吉翁はこのように云つております。ところが、民主々義の唱えられている現在、或る者は富み、或る者はその日の食糧にも困るようなことは、何時の世でもあり得ることですが民主々義のこの世の中にこれを黙つて見ている道理はありません。

富む者は困つている者に施し、幸も不幸も分かち合うのが当然のことであり、又人間としてなさなければならぬ人の道であると思います。

現在、炭砿は不況にあえぎ、朝鮮ブームで好景気だつた金属工業も今では余り良くありません、したがつてそれらの、仕事にあぶれた人々はやけ酒をあおり、少しでもそのうつぷんをはらそうとしているようです。仕事につきたくても就職口はなし、あげくのはてが一家心中、はては泥棒にまでなり下り、人のものをぬすむようになります。

「衣食足つて礼節を知る」衣、食が充分であつたならこのような事はない、と私は断言致します。しかしこのような状態の中では今すぐみんながみんな、衣食足りるということは、不可能な事かも知れません。

それで私はいくらかでも、富める人は、貧しき人々にその幸を分け与える気持を持つてもらいたいと思うのです。不幸な人達の中にただ、自分一人だけが幸せであつても、それは真の幸せではありません。

多くの人をふみ台にして自分だけがその上にのつていてはその人自身も決して気持がよいとは言えないはずです。

私は時々こんな夢のようなことを考えます。何んとかしてお金を得て、そのお金で慈善事業をおこし、世の中の貧しい恵まれぬ人々を救つてやりたい。職のない人には職を、病にたおれている人には医療費を、そして一人の不幸な人もない、楽しい、明るい世の中にしてみたいと思います。

しかし、今日とてもそこまで及ぶはずがありません。ただ、この気持だけでも世の中の人々すべてが持つようになれば、しだい〱明るい方向に進むのではないかと思われます。

常に持つている助け合いのこの美しい気持は、その人のいろ〱た面に反映して、和やかなふんいきを作り、すさんだ灰色の社会もやがてこんなちよつとした気持の面から明るさを増すものと信じます。

たつた一人のわずかな心づかいも、五人、十人と寄れば大きな強い力となり、それがやがて世の中から不幸な人を救う原動力となるのでありましよう。

潮流

平市出身の「時津山」が本場所で優勝した時、郷土の誇りだとして大騒ぎされ、直ちに時の関内代議士を会長として後援会が生れた。ドンスを寄贈したり、地方巡業に引つ張つて錦を郷党に飾らせたり大分華々しかつたようだ。その後「時津山」が、土俵の成績が芳しくなくなると、後援会の影も薄れて行つたが、今度また関脇に返り咲いたから、後援会の息も吹き返すだろう。延びるべき天才を持つ者を、隣人が更に力を添えて、延ばしてやる事は大いに結構な事である。人間の美しい至情と云うべきでもあろう。然し名を成したその全盛の時に、郷土の誇りだ等とあわててつくられるような後援会では実は困るのだ。本人そのものの苦境時代、芝草が踏まれながらも風雪に堪えつつ、本然の生命を延ばさんとして居るにも似た、本人の鍛錬時代に、その才能を認めて、天分を延ばしてやろうとの隣人の暖い心こそ最も尊いのだ。女子学生界の走高跳のホープと云われる小名浜一中の渡辺君子さんの後援会が生れた事は、この意味に於て大いに尊重さるべきものであろう。彼女の今迄の忍耐と、努力と、研究、これが更に後援会の誕生によつて倍化される処に意義がある。本人のより多い真剣な努力と、折角出来た後援会が浮つ調子にならぬよう望んで止まない。

天氣予報

（今晩）北よりの風で一時小雨がありましよう。

（明日）北の風くもり、一時晴れの天気。

（明後日）西よりの風、一時くもりましよう。

（海上）今夜は風波があり、あすもやや高いでしよう。あさつてはおだやかになりましよう。

川柳

川柳小名浜吟社　十月例会（於 扶桑寮）

宿題 —豊年—　菅原一宇選

佳作

農民の頬ほころばす満作よ　かおる
豊年で畑の会釈もみな笑顔　あんこう
豊年であろが無かろが秋祭り　樽児
薮ぽちは豊年だよとそびえ立ち　光女
豊年の案山子雀を大目に見　哲也
居候豊年ばかり話題にし　正行
豊作え嫁の衣裳お七重八重　仝
豊年と見込んで歩く勧誘員　政女
望まるる裾野は金波に埋もるる　栄女
豊年で嫁婿とりの大振舞　寛助
一粒は百に実りで農夫合掌　斗酒

三才

【人】豊年えかつぎ屋だけが暗い顔　六七八
【地】豊年を農業手形におどかされ　六七八
【天】豊年でドスター買つてパンをくい　正行

宿題 —算盤—　高野六七八選

佳作

商人のウソを算盤知りつくし　一宇
家計簿に算盤入れて廿三斗　正行
年末に算盤はじいて青くなり　光女
算盤に愛着残し五十五才　哲也
算盤と共に汝らの道開き　栄女
算盤を持てば人情受付けず　一宇
秋長けて算盤の音冷たし　斗酒
割切れぬ算盤を手に今日も暮れ　樽児

三才

【人】算盤を弾き二度目の恋をする　一宇
【地】算盤を片手に客のふところ見　正行
【天】腕未熟割れぬ算盤ニラミつけ　栄女

席題 —人形—（互選）

雨上りいだく子供の泥人形　かおる
人形に生れ人形あき足らず　一宇
独り者夫婦人形にシツト心　寛助
結婚をうながす壁の夫婦びな　哲也
菊人形立ちて今よいも秋深し　光女
人形もはじらう美人コンテスト　六七八
人形のポーズを真似るあで姿　正行
独り者夫婦こけしがうらやまし　哲也
一人寝に抱いて語るは紙人形　政女
親亡き子人形抱いてむせび泣き　栄女

◎初心者歓迎
十一月例会　十一月十七日
ところ　高野洋品店階上
宿題　「新米」「煙草」
事務所　高野洋品店　電三三八番

出火御見舞御礼
十月十八日午後九時二十分頃出火に際しましては早速御駈付け消火に御尽力下され且つ御鄭重なる御見舞を賜り誠に有難う御座居ました。御陰を以つて被害を最小限度に止め得ました事を深く感謝致します。
一々参上致して御礼申上ぐべき処略儀乍ら紙上を以つて厚く御礼申上げます。
昭和三十年十月十九日
朝日第二製氷工場
小名浜町栄町　電話二六九番

近火御見舞御礼
十八日午後九時二十分頃附近の朝日第二製氷工場の出火に際しては早速御駈付け下され且つ御鄭重なる御見舞を賜り誠に有難う御座居ました
一々参上致し御礼申し上げるべき処、略儀乍ら紙上を以つて御礼申上げます
昭和三十年十月十九日
磐城市栄町
福島県立小名浜水産高等学校

小名浜漁業協同組合
組合長　三代義勝

小名浜機船底引網漁業協同組合
組合長　田島繁夫

小名浜漁業協同組合
電氣技術指導部
磐城市栄町
富塚義成
電話八三〇番

小名浜造船協同組合
理事長　小野虎治郎
電話一九五番

小港食料品店
栄町一　電話六六八番

鮮魚仲買商
山野邊トキ
栄町三　電話四三八番

古港酸素熔接工場
栄町一　荒利雄

終戦前後の想い出 ⑤

北尾政吉

昭和廿八年八月、ソ連軍が柏原湾え進駐以来、約三カ月の期間に於て曽て日本軍治下にては外観は元始的様相の未開地の柏原地域をソ連軍の手によつて文化的に整然と修築され、市街的道路に改善され町名は凡て自国の巨頭、偉人の士の氏名を冠し、道路の両側の建設家屋は大体に於て、高さ、大さ等一定の標準型と規定する程、その建設に対する整然たる理想の表現にはまた驚異に値するものと思われた。

先ず我方に於ける身近の一例を示せば自己の所有地だからとて、建設家屋の向き方等は道路に並行さ せずとも、自己の自由だと個人的の解釈により建てられたる建物は磐城市に於ても幾分ある様だが、斯る乱雑なる建て方はソ連に於てはつとめて避ける様で、北千島の如き辺境地に於てすら何れにも発見されなかつた。

これ等は建設許可の事前に於て、指導的立場の当局が慎重に処理すべきであると私は思うのである。

次に甚だ些々たる事でも建設関係上多少参考になると思う件は、ソ連側の土木関係の特異的流儀で、即ち電柱、門柱、サク板塀等は凡て山型に切込み水切りを流ちようならしめ、兼ねて外観的に威厳あらしむるが特徴である。

我等多数民間捕虜は、現地被抑留三年間コキ使われて、苦労様々、最後に上級幹部数名と、若干の事故者を現地に残して、昭和廿三年十月上旬愈々釈放を受ける事になり、返還船中用（デツキ炊事用）まき採りとして、全員千余名が柏原郊外の雑木林に出動し、在島最後のまき採りをなし、帰航船中用食料其他の積込みを完了した。帰還者全員の過半数以上は、多少共給料精算の収得分がある筈なのにそれは帰航の船中で支払うと送還監督将校の言明であつたが、これは一時逃れの甘言に過ぎなかつた。

ソ連の送還船が、日本え直航するのかと思うて居たら、乗船は帰航途中に樺太西海岸の地名不詳の炭砿地に寄航し、ソ連将校指定の下に送還者中より数十名を短期間的に臨時労働として上陸せしめ、更に若干沿岸を南航し、再び同様員数を別の不名作業地に上陸せしめ残員を乗せて樺太沿岸の南航を続けた。

航行船上より陸上を遠望すれば、眼界見渡す限り深林また深林であつた。

其後吾々は柏原出発以来、乗船は二日後に樺太西海岸真岡に到着した。真岡は樺太としては屈指の港湾で、当時港内には中型の船舶が絶えず三―四隻出入碇泊し、樺太炭の積取りが昼夜兼行で間断なく行われて居つた。

話は少し戻るが、前日吾々の乗船が寄航した不明の地は、その附近に製紙工場でもあるのか、陸上の沿岸近くに樺太縦貫鉄道の引込線があり、其鉄道貨車は幾分小型にて、同貨車が数台停車し、陸上倉庫より恰も日本のルーフイングの様な外型の、即ち白色の厚紙の貨物のみが、倉庫より貨車に続々と積み込まれて居つた。

元南樺太住民の日本人十余万人の大部分は、終戦後真岡に集結し、同地経由で日本連絡船で連続的に函館え向け送還されつつあつた。

全日本選手権大会

渡邊君子選手出發

県体に於て走高跳で一米五〇を跳んで、一躍日本スポーツ界の話題の中心となつた磐城市小名浜第一中学校三年の渡辺君子さんが二十二日より開催される第三十九回全日本陸上競技選手権大会に出場のため、本十九日午前十時十分の小名浜発で君子さんの兄光平さん外級友等関係者多数に見送られて出発した。

第三十九回全日本陸上競技選手権大会に中学生として異例の大会出場は全国的に話題が賑している。渡辺さんの母校、磐城市小名浜第一中学校を初め小名浜体育協会、等を中心として後援会を組織、メルボンを目ざして日本の渡辺君子を造ろうと発足して居り、磐城市は挙げて渡辺君子さんの活躍を念願している。

一方この渡辺さんの驚異的な走高跳の記録の反響が、日本選手権大会の出場となりこれについて、渡辺さんの処には、遠く北海道方面を初め福島県の各郡からも激励の手紙が続々と寄せられている。こうした見知らぬ人々の激励に渡辺君子さんは感激のまなざしをうるませていた。

相馬郡新田、平泉吉子さん、相馬市の木はたハマ子さん等より「渡辺さん始めて便りをあなたに書きます、走高跳で良い記録を作つたとき、私はもうれしくなりました。神戸に行つたら、しつかり、かつて下さい。（中略）又、北海道あさひ川市春光町陸上自衛隊、第二補給隊教育隊第一小隊の徳永登さんよりも「このことをスポーツ新聞で知り、渡辺君子さんの今後の活躍を祈る。」等の激励文が寄せられている。

渡辺君子さんは、出発の朝あわただしい準備のさなかで次の様に語つていた。

「全然知らない人達からの激励があり、一生懸命がんばり、よい記録をつくつて帰ります。」

君子さんの母はまさんは君子さんの出発準備の世話をしながら語る「今度は君子の為に皆さんにいろいろと心配をして頂き有難いと思つて居ます。息子の光平は今月二十八日結婚式を挙げるので、この仕末です。」とうれしいぐちをこぼしていた。

卸・御菓子各種
みはゑや商店
中島木通り電七七七

行路事故者の世話

大高丸丹野氏ゝ仁侠

連日の大量サンマの水揚量と上がつたり下がつたりする値が猫の目いろほど変るのに、それと共に急がしいのが運送業者であろう。その多忙の折に事故を起した車の処理と負傷者の世話から、負傷者の荷さばきまでしてやつたという美談が第三者よりもれて、その美しい行為がいたく賞さんされている。

十五日午前三時頃茨城県下館の街道で磐城市大字永崎川端の鮮魚商酒井文弥（六五）さんは三輪車運転を誤まり、松の大木に衝突して頭部裂傷脊ずい骨折の半死半生の事故を起こしてその場にコン倒した。

丁度その時磐城市栄町漁業大高丸方の常磐貨物KK所属の丹野民部（三六）さんが通りかかつた。民部さんも共に契約した仕事が沢山あり、帰りを急いでいたがその場に車を止め酒井さんを下館の富田病院に入院させる一方酒井さんの積荷のサンマ約三三〇貫の賣却手配から事故車のかたずけまでしてその日遅く帰浜して来た。酒井さんは不運にもその後間もなく絶命した。

「赤い羽根」

大口募金協議

磐城市江名地区「赤い羽根」大口募金実施のため明十九日午前九時江名支所に中之作以北の民生委員が集まり、これの実施について協議することになつた。

成田丸漂流

磐城市小名浜港所属第一成田丸（三五とん、船主市内下町五八番地平常松氏）は十八日午後十時頃里崎沖合南南西十八まいる附近で機関故障の為漂流中の報が小名浜漁業用海岸無線局に入でんした。

その後成田丸はでん源が無いために無線を発信していないので正確な位置が不明である。

尚、釜石海上保安部より巡視船かわちどり二二〇とんが救助のため出動している。

磐城市に於ける

高松宮御見学日程

高松宮奉迎打合せを磐城市に於て市当局、警察署長、港務所長、小名浜工事々務所、江名漁業会、小名浜漁業会、江名支所長等関係者が出席準備について打合を行つた高松宮の磐城市に於ける御日程は次の通り。

▼二十二日午後二時十三分江名漁港着、同二十三分同港発、小名浜商港二時四十二分着、同港三時発日本水素KK三時十分着、同KK四〇分発、常磐市に御向いになる

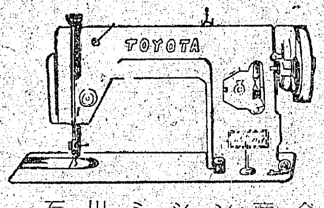
青果市況

小名浜中央青果市場

◇青果

たまご一五―一二ねぎ三〇―一〇玉ねぎ一〇〇―八〇、ごぼう八〇―六〇にんじん一五〇―一〇〇ばれいしよ四〇―二〇さつま四〇―二〇

酒は
清世界
上朋神町一九
清水屋商店
小野義一
電話一四五六番



石川ミシン商会
磐城市古港 電466

洋服は
技術もスタイルも価格も
きつと御満足を得られる
紳士服
婦人服
箱崎洋服店
磐城市松之中（水素前通り）

タイルと衛生陶器
（販賣施工）
富士工業株式会社
磐城市竹町二三番
電話七九四番

うなぎは年中無休です

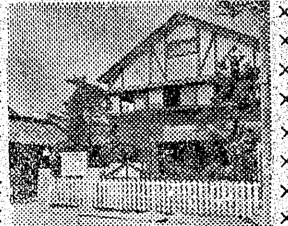
KOIZUMIYA
讀書の秋にそなえて
和洋各種辞典
各科自習書類
◇
角川文庫まつり
目下開催中
包装紙抽籤券呈上
◇
泉 小泉屋
小名浜本町 TEL122

DP 現像焼付 引伸
募集!!
経験者 経験一年位 若干名
見習者 十七、八才 若干名
委細面談
優遇します
鈴木寫眞館
磐城市本町 電十八番

開店の御知らせ!!
郷土色豊かな
江戸前 寿司
天婦羅
小料理
を御用命願います
◇出前は一品でも近くに不拘御届け致します
勉強の店
江戸前
立食歓迎
磐城市辨天横町
幸寿司
電話七八七番

許可証で誰でも乗れる
ナカジマスクーター
125cc
¥113 000 00
製造元 中島工業株式会社
福島縣総代理店
宮下商会
磐城市下町三
電話198番

開業御知らせ!!
☆☆
七五三及び花嫁着付
特殊コールドパーマ
御来店を御待ちして居ります
ミモザ美容院
磐城市上町 金星座前
主 松原タケ子



産婦人科・外科・X線科
久保田醫院
※入院室完備
磐城市横町
電話（磐城）二二番

畳表替の
好季が参りました
本年度のリユウ球表の出来は大豊作にて品質優秀で格安です。!
大分県 琉球表
廣島 岡山 備後表
上敷 ゴザ うすべり
その他附属品一式を取揃えて目下特売中
寒さに備えてもつとも経済的な
煉炭及豆炭を御使用下さい。
驚く程燃料のいらない
新案特許 東和カマド
火力強大！ 保温絶大！
時間経済！ 簡便重寶！
營業品目
小麦粉 食油 石鹸 荒物 かまど
砂糖 水飴 畳表 紙 レン炭
電話67を増設いたしました
合資會社 榮屋商店
磐城市古港商店会67 電話3番 67番